

地域包括支援センター運営協議会 議事録

審議会等名	令和 5 年度第 2 回地域包括支援センター運営協議会
日 時	令和 6 年 3 月 1 8 日（月） 午後 1 時 3 0 分 ～ 2 時 3 0 分
会 場	下野市役所 2 階 2 0 3 会議室
出席者	被保険者代表（1 号）：小林 三千代・伊澤 公恵 （2 号）：増渕 晴美・高山 信夫 医療関係：鶴岡 優子 保健関係：高山 早苗・伊沢 泰直（会長） 福祉関係：高田 トモ子 関係団体：坂本 栄一・関 匡代 地域包括支援センター：みなみかわち山下 昌美・こくぶんじ高津戸 美枝 （代理：小川 裕美）・いしばし中山 恵美加
欠席者	医療関係：岩井 弘充 保健関係：鈴木 美弥子 福祉関係：角田 充仙
事務局側	福田健康福祉部長 金田高齢福祉課長（基幹型地域包括支援センター長兼務） 基幹型地域包括支援センター：早乙女課長補佐・吉川主幹・阿部主事・深澤主事
公開・非公開の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
傍聴者	0 人
報道機関	0 人
議事録作成年月日	令和 6 年 4 月 3 0 日

1 開会	司会：金田課長 地域包括支援センター運営協議会設置要綱第 6 条第 2 項により、半数以上の方の出席があるので、この会議の開催は成立する。
2 あいさつ	伊沢会長
3 自己紹介	委員自己紹介
	（司会） これからの議事進行については地域包括支援センター運営協議会設置要綱第 6 条により、伊沢会長にお願いする。
4 議事	（伊沢会長） 議題 1 ～ 6 について事務局より説明をお願いします。 （事務局） （1）令和 6 年度事業方針（案）について：資料 1 に基づき説明

- (2) 令和6年度運営業務委託仕様書(案):資料2に基づき説明
- (3) 地域包括支援センターの相談実績について:資料3-1に基づき説明
- (4) 地域包括支援センターの相談実績経年変化について:資料3-2に基づき説明
- (5) 地域包括支援センターの活動実績について:資料4に基づき説明
- (6) 地域包括支援センターの職員配置状況について:資料5に基づき説明
- (7) 地域包括支援センターの事業評価について:資料6に基づき説明
- (8) 介護支援業務の委託先居宅支援事業所について:資料7に基づき説明

(伊沢会長)

事務局より説明があったところだが、質問はあるか。

委員より一言ずついただきたい。

活動実績から下野市における活動の活発さが伺える。薬剤師会としても様々な活動に参加していきたい。

(小林委員)

地域包括支援センターの職員の皆様のご苦勞に感謝しています。

資料3-2 相談内容の中の権利擁護、成年後見制度の項目について石橋地区が多いが広報活動等の影響があるのか。

(中山センター長)

今年度は成年後見制度を利用する方が多い年であったことに加え、利用支援の数値は述べ件数となるため、1人につき複数回行くと件数が多くなっていくこととなる。

社会福祉協議会の中で成年後見制度の中核機関(成年後見サポートセンター)が新設され、連携して動くケースあったことや困難ケースがあったことから、数値が高くなった。

(伊澤委員)

石橋の地域ケア会議の数値について、疑問に思っていたが、感染症予防のために地域の方を呼ぶことができなかったという説明を聞いて納得した。大変な時期を過ごされたと思われる。新型コロナウイルスが5類に移行したが、今後も気を付けて対応していただきたい。

(増淵委員)

資料3-2の包括的継続的ケアマネジメントについて、みなみかわちが他地区に比べて多いのは述べ件数か。

(山下センター長)

ご質問の中にあつたように述べ件数となっている。

困難事例や多様化している相談ケース等多くなり、1人につき複数回、相談を継続することもある。

(高山委員)

資料４の３在宅医療介護連携事業について講演会やセミナーの参加対象者については、限られた方が対象となっているが、一般市民の方も聞けるようにしたらいいのではと思った。

(鶴岡委員)

毎年３月末に会議が行われるが、その前の段階で振り返りを行い軌道修正を行っていく方が良いのではないかと思った。

資料７の地域包括支援センターの委託先それぞれの件数を出すのは難しいのか。個人情報の関係もあるため難しいとは思われるが、公平性を検討するのであれば必要でないか。

(事務局)

令和６年度の会議に向けて検討させていただく。

(高山委員)

ACPの周知について、石橋病院においても連携していきたいと考えている。

(坂本委員)

フレイル予防の健康教室の実施について、地域ふれあいサロンの参加には費用がかかるのか。

(事務局)

費用はかからない。

(坂本委員)

市役所でもサロンの代表者に向けて、フレイル予防教室等の周知を積極的に行ってほしい。

(小林委員)

各地域ふれあいサロンに向けて、フレイル予防教室の案内を行っている。フレイル予防教室の案内が届くのが新年度となるため、早めにいただければと思う。

(事務局)

次年度に向けて検討を行っていく。

(高田委員)

利用者の方で、成年後見制度の利用を行う方が出てきているが、後見人の名簿リスト等はあるのか。

(中山センター長)

成年後見制度については、家庭裁判所に申立てを行った後に、裁判所から選ばれ

	た方が後見人等になるため、名簿のリストはない。相談先としては弁護士会や司法書士会に相談される方もいる。 下野市民の方に関しては、最寄りの地域包括支援センターや社会福祉協議会の成年後見サポートセンター等に相談できるため、そのような方がいれば紹介していただければと思う。 (関委員) 地域包括支援センターの実績について、ケアマネジャーからの相談が多いことが挙げられている。自身も地域包括支援センターへ相談を行うが、下野市の地域包括支援センターは返答が早く助かっている。地域包括支援センターだけで抱えきれない相談については高齢福祉課へ相談を行っているが、その結果も伝えてくれるため非常に心強い存在である。今後もよろしく願いしたい。 (伊沢会長) 以上で議事は終了とする。事務局へお返しする。
5 その他	(司会) その他特になし。
6 閉会	